

# 高砂青松

No.43  
2012年6月27日 発行  
The Rotary Club of Takasago Seisho, Japan



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために  
Reach Within to Embrace Humanity  
2011~2012年度国際ロータリーのテーマ

## Rotary Club



### 【親睦委員会担当】 〈創立記念例会〉

於：大黒天



内海会長 挨拶



濱田親睦委員長 挨拶



増田次年度ガバナー補佐による  
乾杯



食 事





西中次年度会長  
閉会の挨拶



## 例会記録 2012. 6. 21 (木) 通算1620回

来訪ロータリアン報告 脇谷 政孝 様 (高砂R.C) 岡田 徹 様 (姫路南R.C)  
(6月20日分) 加納 基宏 様 (高砂R.C)

### ◇プログラム予定◇

6月27日 (水)

会長・幹事退任挨拶

昼食メニュー

うな重&吸物&小鉢

7月4日 (水)

会長・幹事就任挨拶  
ガバナー補佐挨拶

昼食メニュー

幕ノ内

7月11日 (水)

定款・細則・決算・  
予算承認

昼食メニュー

カツカレー&サラダ

7月18日 (水)

各委員会事業説明

昼食メニュー

幕ノ内

・昼食メニューは仕入れの都合により変更することがあります。

## 会長の時間 President

創立記念例会にご出席いただきありがとうございます。

青松クラブの創立は今から34年前の6月24日です。当時28名の創立会員を持つでのスタートでした。

先日創立当時のクラブの委員会構成表を見る機会がありました。会長に西中勝さん、副会長に廣瀬正三さん、会長ノミネーに菱田策三さん、そして幹事に京谷慎平さんとありました。西中さん、廣瀬さん、菱田さんは残念ながらお亡くなりになりましたが、今はそのご子息が青松クラブのメンバーとして活躍されている、まさに34年という歴史を感じずにはられません。そして、現在創立メンバーで残っているのは、西田さん、鹿間(皿)

さん、大森(千)さん、京谷さん、中谷さんの5名です。この5名のメンバーは青松クラブの歴史の証人です。いつまでもお元気でそのお顔を見せていただきたいと思います。

青松クラブも来年で35年を迎えます。これを一つの区切としてさらに発展していくことを心から願っております。

今日は親睦委員会のお世話で、ここ大黒天での例会です。最後までごゆるりとご歓談下さい。



## 幹事報告 Secretary

第46回 通算1542回

1. ハイライトよねやまが届いています。



## 近隣クラブINFORMATION Neighbor-club information

クラブ名	変更内容	日時・場所
明石北ロータリークラブ	最終例会の為	6/26(火)⇒6/28(木)
姫路中央ロータリークラブ	最終例会の為	6/28(木) 於：おもてなしDining 福亭 18:30～ 最終夜間例会
	合同例会の為	7/12(木)⇒7/10(火) 於：姫路商工会議所 2階大ホール ◎12:00～ 受付・食事 ◎12:30～14:30 合同例会
姫路ロータリークラブ	合同例会の為	7/10(火) 於：姫路商工会議所 2階大ホール ◎12:00～ 受付・食事 ◎12:30～14:30 合同例会

(注) 高砂青松ロータリークラブのホームページにも掲載しています。……ホームページの情報の方が早く把握できます。

## 今日を大切に

「日日是好日」とは、中国の古典『碧巖録』へきがんろくにある言葉です。

「来る日も来る日も穏やかで良い日が続く」ということで、一日一日を大切に安らかに生きる心構えを説いています。人は物事を自分中心に考えてしまうものです。自分に都合のいいように、良い日や悪い日などと決めつけるのです。

そういう偏見を捨て、どのような境遇の下でも、そこに真なるものや良いもの美しいものを見だし、最良の日に転じていこうということです。

人が不平を持つ事柄に、天候があります。多くの人が晴れの日を良しとし、「雨が降った。雪が積もった。暑い寒い」と不満を口にします。しかし天候は、人間の力ではどうすることもできない自然の摂理です。

天候に引きずられて心が乱れると、人間関係や仕事への不満や愚痴が、次々と湧き起こってくるものです。そのような時は、「私たちは大自然の中で生かされている」と気持ちを落ち着かせたいものです。

自分のやるべきことに希望を見つけて、心豊かに取り組んでいきましょう。

今日の心がけ ◆今日を豊かに過ごしましょう

## 和の心

日本には古来より受け継がれてきた、「もったいない」という精神があります。

近年、私たちの周りは多くのモノで溢れ返っており、大切に使うという心が希薄になっているようです。

モノは大切に使うことによって、本来の力が発揮されます。まだ使えるモノを捨ててしまったり、粗末に扱ったりしてはいないでしょうか。

東日本大震災後、首都圏は節電のため、夜の街並が薄暗くなりました。へそれでも生活はできる」と、改めて実感した人も多いでしょう。

煌々と照明が点いている夜景は、確かにきれいで華々しく感じます。一方で、限りある資源を無駄に使っていることにもなるのです。

日常の便利さは、決して当たり前ではありません。使わせていただいているという謙虚な気持ちで、モノと長く大切につき合っていきたいものです。

すべてのモノを畏れ敬ってきた「もったいない」という精神を、今一度心に刻み、日々の生活を省みる時間を持ちましょう。

今日の心がけ ◆和の心を持ちましょう